



世界初のデジタル地球儀が玄海中へ！ 地球の過去から未来を「見る」授業

2月18日(水)、玄海中で世界初のデジタル地球儀「触れる地球 SPHERE」を開発した竹村 眞一氏による特別講義を実施します。地球環境問題は複雑化する一方で、子どもたちがリアルに自分事として捉えることが難しいという課題があります。

そのため今回は、人工衛星のリアルタイム雲情報や台風の動き、ライブカメラ映像、数億年前の大陸移動、地球温暖化の未来予測などを地球儀上で確認できるデジタル地球儀を活用し、環境問題や地球規模の課題を俯瞰して体験、学習する機会を提供します。



《竹村氏と触れる地球 SPHERE》



《地球儀を使った講義》

【世界初デジタル地球儀 特別講義 概要】

日時：2月18日(水) 10:55~11:45

場所：宗像市立玄海中学校(宗像市江口965)

講師：竹村眞一 氏

1959年生まれ。東京大学文学部哲学科卒、東京大学大学院・文化人類学博士課程修了。現在、京都造形芸術大学教授。人類学的な視点から地球環境問題や IT 社会を論じつつ、「触れる地球」など IT 技術を活用した地球環境問題への取り組みを進める。

参加者：玄海中学校 全校生徒 124人

内容：世界初のデジタル地球儀「触れる地球 SPHERE」を用いた特別講義

※デジタル地球儀は 2005 年に発表され、人とシステムが双方向にやり取りを行う装置として、同年グッドデザイン賞金賞受賞。

【背景】

本特別講義は、昨年10月に開催された第12回宗像国際環境会議において竹村氏が登壇したことをきっかけに地球環境問題を「目で見て学ぶ」教育に興味を持った、玄海中からオファーし、実現しました。

【問い合わせ先】※ご取材いただける場合は、事前にご連絡ください

宗像市地域教育連携室 担当：占部 TEL:0940-36-1169